

株式会社フジミインコーポレーテッド 株主通信

FUJIMI TODAY

2014.4.1～2015.3.31

vol.

40

2015年6月発行

特集 株主様からのご質問にお答えします。

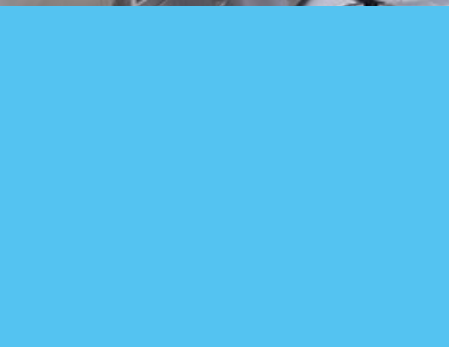
技術を磨き、心をつなぐ

証券コード 5384

FUJIMI



お客様目線の実践
革新への挑戦
新規事業・新規用途開拓の強化





技術を磨き、心をつなぐ

私たちの「磨く技術」は半導体をはじめとした
さまざまな産業で活かされています。
フジミはお客様にあらゆる製品を
磨いていただくことで、
人々が快適に暮らせる未来の創造に
貢献します。

代表取締役社長 関 敬史

株主の皆様へ

2015年3月期の当社グループを取り巻く環境は、先進国においては米国では景気回復基調が続きましたが、日本、欧州では景気回復は緩慢であり、中国をはじめとする新興国では経済成長の鈍化が見られました。一方で世界半導体市場は、スマートフォンや車載関連需要の拡大などにより堅調に推移しました。このため、主力のシリコンウェハー市場につきましてもウェハー出荷が高い水準で推移しました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めた結果、当連結会計年度の業績は、売上高32,815百万円（前期比19.4%増）、営業利益4,128百万円（前期比217.4%増）、経常利益4,596百万円（前期比199.4%増）、当期純利益3,695百万円（前期比362.3%増）となりました。

お客様との関係では本年3月に米インテル社よりプリファード・クォリティー・サプライヤー（PQS）賞を受賞しました。インテル社からの表彰は2003年のPQS賞、2004年のサプライヤー・コンテニューアス・クォリティー・インプリーブメント（SCQI）賞以来の表彰となりました。ここ数年お客様から品質、技術に

関する表彰をいただいたり、工場監査・見学に来られるお客様から5S活動についてお褒めをいただく機会が増えております。また、毎年実施しているお客様満足度調査のスコアも着実に伸びてきております。これは、経営方針の一つとして掲げている『お客様目線の実践』と品質方針に掲げている『業界最高レベルの品質』が確実に定着している結果であると実感しております。

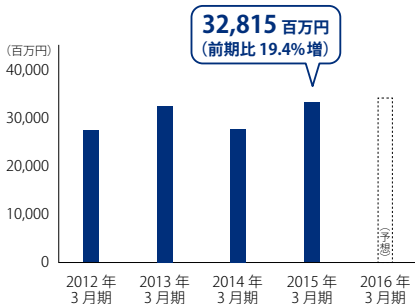
また、本年1月には中国における新規事業機会の獲得と既存のお客様への技術サービスを充実させるべく、マーケティングとテクニカルサポートを中心に活動する「深圳福吉米科技有限公司」（フジミ・シンセン・テクノロジー）を、中国深圳市に設立しました。また、4月には中長期的な時間軸での将来技術の開発を行いつつ、次世代の新規事業機会を探索し各事業本部に橋渡しをするための有望事業育成支援機能を有する先端技術研究所を設立しました。今後、新規事業や新規用途開拓にもより一層積極的に取り組んでまいります。

皆様のご厚情に感謝するとともに、これまでと変わらぬご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

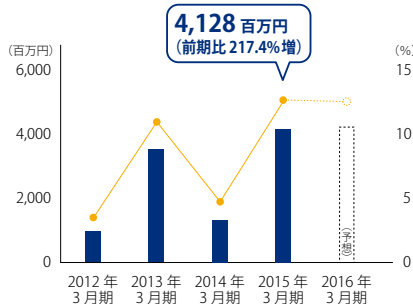
※2016年3月期は、2015年5月8日現在の予想値です。

■売上高



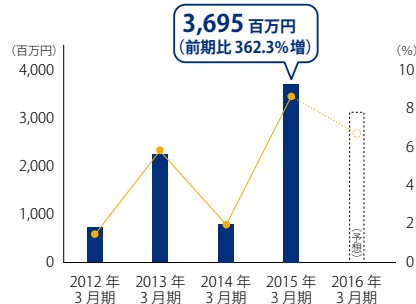
■営業利益・営業利益率

折れ線グラフ：営業利益率（右軸）



■当期純利益・ROE

折れ線グラフ：ROE（右軸）



最近の海外展開について教えてください。

製品はどのようなところに使われていますか。

新規事業への取り組みについて教えてください。

「お客様目線の実践」について教えてください。

特集 株主様からのご質問にお答えします。

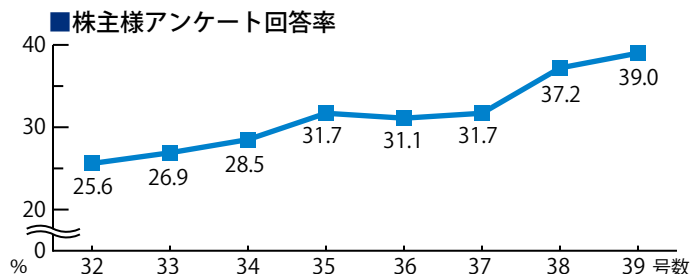
先端技術研究所の設立目的を教えてください。

主要製品のシェアについて教えてください。

理念・ビジョンの浸透について教えてください。

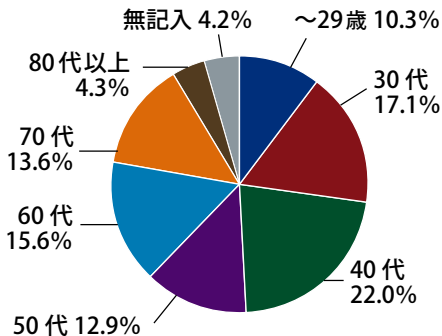
フジミという会社名の由来は何ですか。また、FO、GLANZOX等の製品名の由来は何ですか。

株主通信のアンケートに、毎回大勢の株主様からたくさんのお声を頂戴しております。フジミは開かれた企業であり続けるために、株主様のお声にも誠実でありたいと考えています。今号では、最近寄せられた株主様のご質問から8つを取り上げ、お答えさせていただきます。

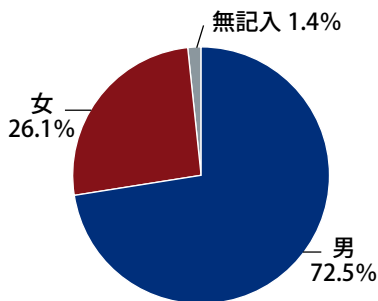


アンケートにご回答いただいた株主様の属性 (株主通信 39号)

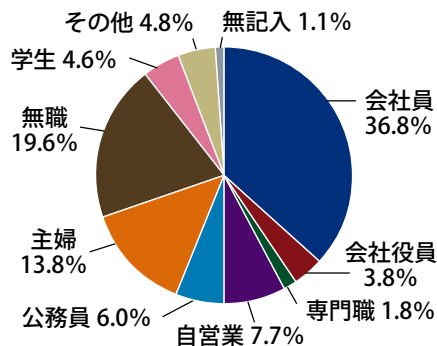
■年齢別



■性別



■職業・役職



Q1 新規事業への取り組みについて教えてください。

A1 当社は、企業ビジョンとして、「既存事業の強化を図りつつ新規分野に積極果敢にチャレンジし、半導体関連分野(シリコン・CMP*)と非半導体関連分野の安定した事業バランスの構築を目指します」を掲げ、従来から推進しているシリコン・CMP・ディスク・機能材・溶射材の5事業に加え、2014年4月に新規事業本部、2015年4月に先端技術研究所を設置し非半導体分野の新規事業の探索と育成のための推進体制を強化してまいりました。

新規事業本部では短中期的な視点、先端技術研究所では中長期的な視点でそれぞれ新規事業機会の創出を図り、将来的には半導体関連事業50%、非半導体関連事業50%の安定的な事業構造比率の実現を目指してまいります。

Q2 最近の海外展開について教えてください。

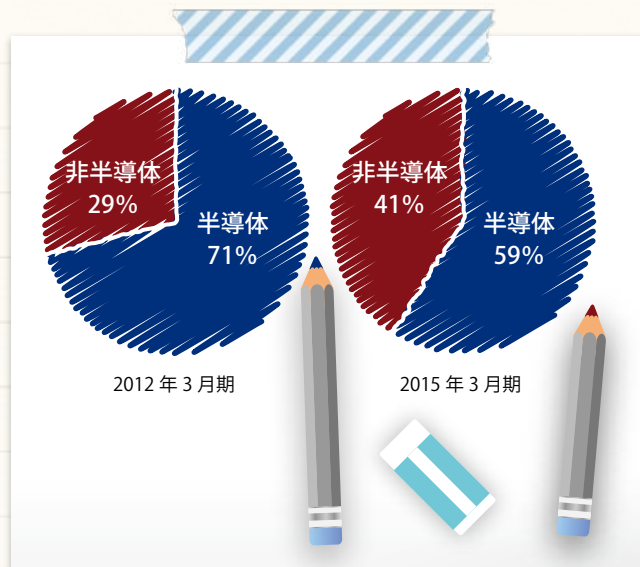
A2 フジミの海外進出は、1984年の米国進出に始まり、マレーシア、ドイツ、そしてアジアの台湾、韓国、中国へと広がっています。

2015年1月には中国のハイテク産業の集積地である深圳に子会社を設立し、中国市場における製品の拡販と技術支援、新規需要開拓および顧客ニーズへの対応力強化を図ることといたしました。

■2010年以降に設立した海外子会社一覧

設立年月	会社名	所在地	在籍人員
2011年8月	フジミ台湾	台湾 苗栗市	71人
2014年1月	フジミ韓国	韓国 ソンナム市	3
2015年1月	フジミ深圳	中国 深圳市	1 6 (4月)

2015年3月末現在



CMP

Chemical Mechanical Polishingの略。
薬液の化学的作用と砥粒の機械的研磨作用による平坦化技術。

Q3 先端技術研究所の設立目的を教えてください。

A3 先端技術研究所設立には、主として2つの狙いがあります。

狙い1 中長期的視野での研究開発、新規事業機会の探索・創出

狙い2 事業本部間および機能本部間のコア技術の横串機能強化

先端技術研究所の設立を通じて、新規事業機会の創出および中長期的な事業発展を目指してまいります。



先端技術研究所全景

Q4 「お客様目線の実践」について教えてください。

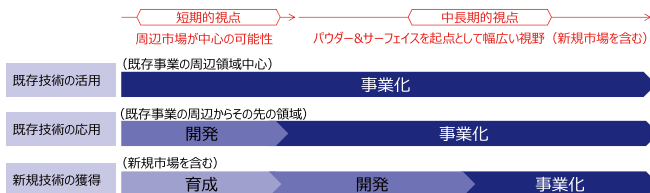
A4 フジミが考えるお客様目線とは、お客様のニーズを満たすだけでなく、お客様が抱えるさまざまな課題を解決するソリューション提供の意味も含まれます。

フジミの製品は、コア技術をもとに各々のお客様用にカスタマイズされたものも少なくありません。そのため、汎用的な製品を開発するケースとは異なり、お客様との距離を可能な限り短くし、密接な関係を築く必要があります。「常にお客様の側で、お客様の声を聞く」この姿勢を継続することで、お客様から真っ先に依頼がくる信頼関係の構築を目指しております。

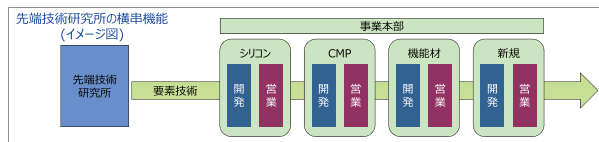
こうした、お客様目線の実践の積み重ねにより、2013年12月にTSMC (Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.)社からエクセレント パフォーマンス賞(優秀賞)*、2015年3月には米国子会社であるフジミコーポレーションが、インテル社からプリファード・クオリティー・サプライヤー(PQS)賞*を受賞するなど、お客様からのご評価に結び付けております。

■ 先端技術研究所の役割

● 長期的視点を見据えた新規事業テーマ探索 (技術・マーケティング)



● 技術の統括 (事業本部間の横串機能)



■ TSMC社からのエクセレント パフォーマンス賞(優秀賞)受賞の理由
CMP用研磨材の品質のみならず、その開発・製造・販売にいたる一連のサポートに対する卓越した品質を高く評価いただいたもの。2013年受賞: 9社



TSMC社から受賞したエクセレント パフォーマンス賞(優秀賞)の盾



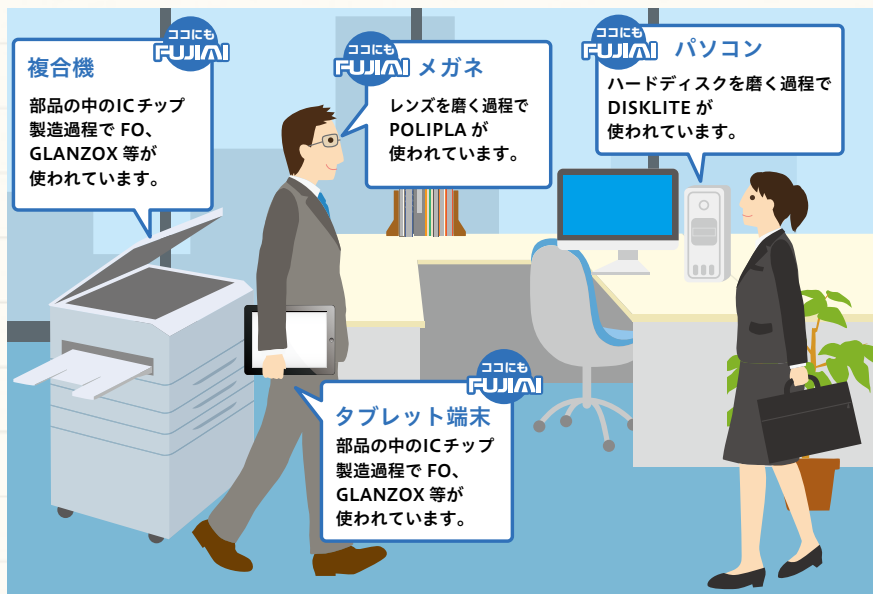
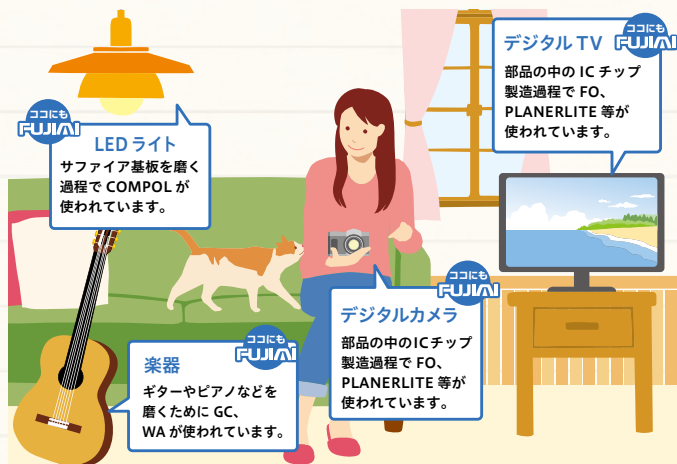
インテル社から受賞したプリファード・クオリティー・サプライヤー(PQS)賞のトロフィー

■ インテル社からのプリファード・クオリティー・サプライヤー(PQS) 賞受賞の理由
品質、コスト、供給体制、技術力、顧客サービス、労務・倫理システムならびに環境持続性により評価されるすべての重点項目に対して、業界を先導する重要な役割を果たしたことによるもの。2014年度受賞:19社

Q5 製品はどのようなところに使われていますか。

A5 パソコンはもちろん、自動車、家電、スマートフォンやタブレット端末などの部品として組み込まれているICチップの製造工程で使用されています。

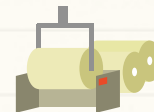
その他、メガネや一眼レフカメラなどのレンズを磨く工程やギターやピアノなどのボディを磨く工程にも使用されています。さらには、飛行機や鉄道や液晶・半導体製造装置や発電に利用されるガスタービン、製紙用機械や鉄橋などに使用される溶射材製品もあります。



溶射材製品の用途例



液晶・半導体
製造装置



製紙用機械



自動車部品



新幹線



航空機部材



鉄橋

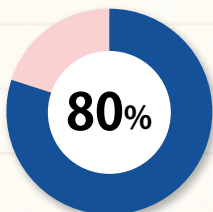
Q6 主要製品のシェアについて教えてください。

A6 精密研磨材の分野は専門性が高く、ノウハウと技術の蓄積が重要で、フジミにはお客様の要求に対応してきた多くの開発実績があります。そして、研磨には5つの要件があります。①平坦化(平らにする)、②平滑化(なめらかにする)、③無欠陥化(欠陥をなくす)、④無汚染化(汚れを残さない)、⑤高効率化(生産性向上)です。フジミではこの5つのいずれにおいてもお客様から高い評価を得ています。

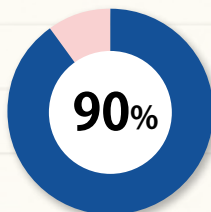
その結果、シリコンウェハー用ラッピング材*(トップシェア)、ファイナルポリシング材*(トップシェア)、CMP用研磨材(3位グループ)、アルミディスク用ポリシング材*(トップシェア)などで高いシェアを誇っています。

世界シェア (2015年3月末現在) 自社推定 ■ フジミ ■ 他社

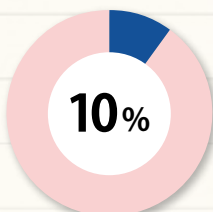
シリコンウェハー用研磨材



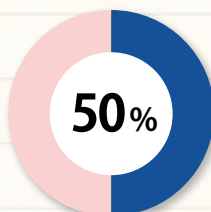
シリコンウェハー用ラッピング材



ファイナルポリシング材



CMP用研磨材



アルミディスク用ポリシング材

ラッピング材

シリコン基板等を粗磨きするための粉末研磨材。

ファイナルポリシング材

何回かに分けられる鏡面研磨の工程における配線直前の最終鏡面研磨の工程で使用する研磨材。

アルミディスク用ポリシング材

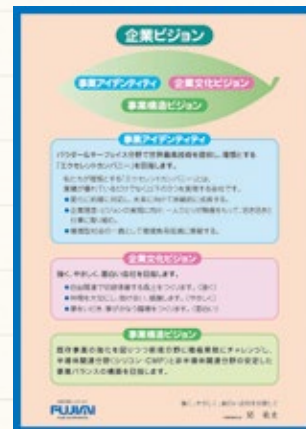
アルミディスク基板を鏡面仕上げするための研磨材。

Q7 理念・ビジョンの浸透について教えてください。

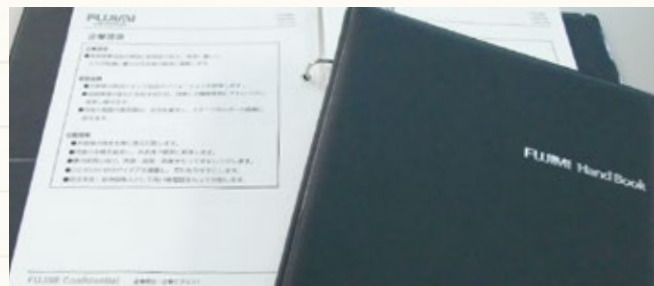
A7 当社は、めまぐるしく変化する経営環境の中で、永続的な企業経営を行うためには、会社の目指す姿(理念・ビジョン)を全従業員と共有することが必要不可欠だと考えております。そのために、各職場における「理念・ビジョン説明会」の実施などを定期的に行っております。理念が単なる理想で終わることなく、全従業員が自分にとっての意味合いを解釈し日常業務での行動や判断の拠り所となる状態を目指しております。



企業理念のポスター



企業ビジョンのポスター



企業理念などを記したハンドブック

Q8 フジミという会社名の由来は何ですか。また、FO、GLANZOX等の製品名の由来は何ですか。

A8 フジミの名前は、村瀬美香(むらせびこう 幕末-明治時代の陶芸家)が創始した不二見焼に由来します。村瀬美香の子孫が創業した不二見焼合資会社に当社の創業者である越山照次が勤めておりました。

そのご縁から、越山照次が会社を創業する際、フジミの名前を使用し不二見研磨材工業としました。

現社名であるフジミインコーポレーテッドは1991年、CI活動の一環として商号変更したものです。

FO(フジミ・オプティカル・エメリー)は、創業当時に光学用研磨材として開発・製造されたものです。当時の光学用研磨材は輸入品のAO・エメリーがスタンダードでしたが、光学メーカーは、この輸入品に優る製品を開発・製造できる国産メーカーを求めておりました。そこで、創業者の越山照次がジルコンサンドを用いた製品開発に成功し、FO(フジミ・オプティカル・エメリー)と名付けました。その後、FOは半導体基板であるシリコンウェハ用の研磨材として広く使われるようになりました。

シリコンウェハ用ポリシング材であるGLANZOX(グランゾックス)の由来は、ドイツ語のGLANZ(輝き)という言葉を使用した造語であり、シリコンウェハを鏡のような輝きを放つ状態にしたいという思いが込められています。

CMP用研磨材であるPLANERLITE(プレナライト)の由来は、平坦化を意味するPLANARIZATION(プラナリゼーション)とLIGHT(光)を組み合わせた造語であります。



20周年記念式典(1979年10月)であいさつする創業者・越山照次



ラッピング材の主力製品 FO



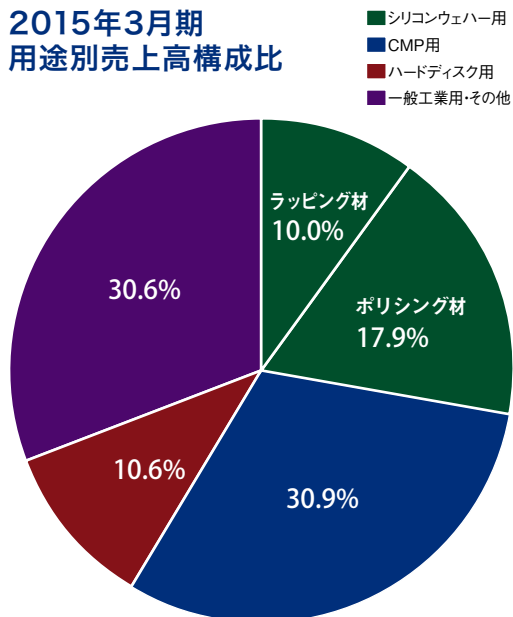
ポリシング材の主力製品 GLANZOX



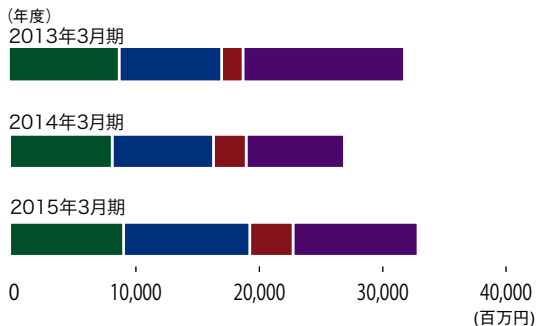
CMP用の主力研磨材製品PLANERLITE

用途別の動き

2015年3月期
用途別売上高構成比



用途別製品
売上高推移



シリコンウェハー用

- 売上高: 9,148百万円
- 前期比: 9.8%増

シリコンウェハー向け製品につきましては、半導体市場の需要増加の影響を受け、ラッピング材の売上高は3,277百万円(前期比10.0%増)、ポリシング材の売上高は5,871百万円(前期比9.7%増)となりました。

CMP用

- 売上高: 10,143百万円
- 前期比: 23.3%増

CMP向け製品につきましては、アジア市場で最先端ロジックデバイス向け製品の販売が好調であったことから、売上高は10,143百万円(前期比23.3%増)となりました。

ハードディスク用

- 売上高: 3,478百万円
- 前期比: 30.9%増

ハードディスク向け製品につきましては、アルミディスク向け製品で当社シェア拡大もあり、売上高は3,478百万円(前期比30.9%増)となりました。

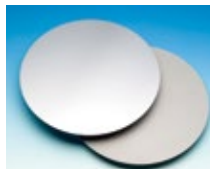
一般工業用・ その他

- 売上高: 10,044百万円
- 前期比: 21.3%増

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、売上高は7,788百万円(前期比26.0%増)となりました。

その他につきましては、売上高2,256百万円(前期比7.5%増)となりました。

パソコンを中心に、電子・IT関連機器の心臓部に使用されている半導体部品の土台がシリコンウェハー（半導体基板）です。このウェハーをいかに高精度に鏡面研磨できるかが、エレクトロニクス製品の性能を大きく左右します。当社グループの主力となるシリコンウェハー用製品では、お客様の期待に応える製品開発をタイムリーに行い、品質の高い新製品をいち早く市場に投入してまいります。



シリコンウェハーは、半導体部品の土台になります。現在の主流は、直径が300mmの大口径で、表面を高精度に磨き上げるために当社の超精密研磨材が使用されます。

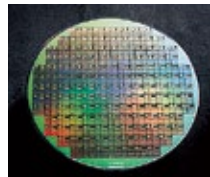


ラッピング材の主力製品
FO



ポリシング材の主力製品
GLANZOX

エレクトロニクス製品の小型化とともに高機能化・高性能化が急速に進み、半導体チップはますます高集積化・微細化が求められています。CMP（化学的機械的平坦化）用製品群は、長年にわたるシリコンウェハー用ファイナルポリシング材のノウハウを応用し開発され、多層配線技術に対応しています。お客様のロードマップにあった迅速な開発品の提供や技術サービスを核に、マーケットシェアの拡大を目指してまいります。



さまざまな情報通信機器やエレクトロニクス製品の技術進歩が加速する中、半導体チップはますます小さく、その配線は細かくなっています。肉眼では見えない細かな配線は今では10~12層にも積み上げられ、その製造過程において、CMP研磨は欠かせないことができません。

CMPスラリーの主力製品
PLANERLITE

ハードディスクは、パソコンの記憶装置、DVDレコーダー、カーナビなどにも搭載されており、最近ではクラウド向けの用途が拡大しています。デジタル家電の高機能化に伴い、プログラムやデータの高速読み出しが可能な小型・大容量のハードディスクの需要が高まり、シリコンウェハー同等の面精度が要求されています。各業界のニーズをいち早くキャッチし、開発期間の短縮化によりお客様の要求にあった新製品をタイムリーに提供してまいります。



写真や映像を手軽に加工したいという市場ニーズが高まり、技術革新が進んだことで、パソコン、デジタルカメラなどのデジタル家電は、より多くの情報が記憶できるようになりました。それに伴い、記憶装置であるハードディスクの研磨面にも今まで以上の高いレベルが求められています。

ハードディスク用の主力製品
DISKSLITE

LED・ディスプレイ・パワーエレクトロニクス用部品の表面加工分野や、パウダー技術を活かした応用分野への研磨・研削材の開発にも積極的に取り組んでいます。最近では、新規用途の一般工業用研磨材の売上が拡大しており、トータルソリューションの提供によりお客様の信頼を得ています。

溶射材は鉄鋼、航空機および半導体等さまざまな業界の溶射用途向けに、主にサーメット溶射材とセラミック溶射材を提供しています。



航空機、鉄鋼、発電、掘削、電子部品などさまざまな分野で利用される溶射材。



サファイヤ基板用の主力製品
COMPOL



溶射材の主力製品
SURPREX

連結財務諸表

連結損益計算書

前連結会計年度
(自2013年4月1日
至2014年3月31日)

当連結会計年度
(自2014年4月1日
至2015年3月31日)

売上高	27,492	32,815
売上原価	18,262	19,887
売上総利益	9,230	12,927
販売費及び一般管理費	7,929	8,799
営業利益	1,300	4,128
営業外収益		
受取利息	62	46
その他	215	459
営業外収益合計	277	506
営業外費用		
減価償却費	11	8
固定資産除売却損	31	30
その他	0	0
営業外費用合計	42	39
経常利益	1,535	4,596

特別利益		
新株予約権戻入益	3	48
特別利益合計	3	48
特別損失		
減損損失	253	—
特別損失合計	253	—
税金等調整前当期純利益	1,285	4,645
法人税、住民税及び事業税	384	1,287
法人税等調整額	100	△338
法人税等合計	485	949
少数株主損益調整前当期純利益	799	3,695
当期純利益	799	3,695

(単位：百万円)

売上高

世界半導体市場は、スマートフォンや車載関連需要の拡大などにより堅調に推移しました。このため、主力のシリコンウェハー市場につきましてもウェハー出荷が高い水準で推移しました。その結果、売上高は前期比 19.4%増の 32,815 百万円となりました。

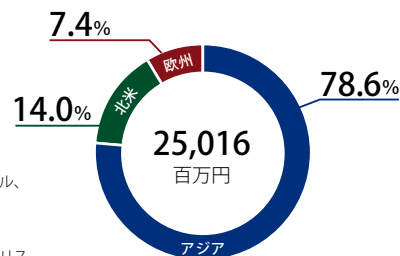
営業利益

売上高の増加により、前期比 217.4% 増の 4,128 百万円となりました。

当期純利益

営業利益の増加により、前期比 362.3%増の 3,695 百万円となりました。

海外売上高構成比 (2015年3月期)



※各区分に属する地域の
主な内訳は次のとおりです。

- アジア：台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、韓国、中国
- 北米：アメリカ、カナダ
- 欧州：ドイツ、イタリア、イギリス

前連結会計年度
(自2013年4月1日
至2014年3月31日)

当連結会計年度
(自2014年4月1日
至2015年3月31日)

海外売上高	20,284	25,016
連結売上高	27,492	32,815
連結売上高に占める割合	73.8%	76.2%

(単位：百万円)

連結貸借対照表

前連結会計年度
(2014年3月31日)

当連結会計年度
(2015年3月31日)

資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,709	18,390
受取手形及び売掛金	5,780	6,487
有価証券	5,106	4,805
たな卸資産	5,107	5,606
繰延税金資産	393	690
その他	825	182
貸倒引当金	△25	△28
流動資産合計	29,898	36,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,779	7,913
機械装置及び運搬具	1,665	1,384
土地	3,410	3,425
建設仮勘定	167	120
その他	1,547	1,302
有形固定資産合計	14,570	14,146
無形固定資産	593	710
投資その他の資産		
投資有価証券	126	247
繰延税金資産	176	154
その他	1,515	522
貸倒引当金	△232	△124
投資その他の資産合計	1,586	799
固定資産合計	16,750	15,656
資産合計	46,648	51,790

(単位：百万円)

前連結会計年度
(2014年3月31日)

当連結会計年度
(2015年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,713	3,319
未払法人税等	56	763
賞与引当金	554	947
その他	1,389	1,719
流動負債合計	4,713	6,750
固定負債		
繰延税金負債	13	13
退職給付に係る負債	389	311
その他	23	20
固定負債合計	427	345
負債合計	5,140	7,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,069	5,038
利益剰余金	37,052	38,836
自己株式	△5,711	△5,379
株主資本合計	41,163	43,248
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	295	1,446
新株予約権	48	—
純資産合計	41,507	44,694
負債純資産合計	46,648	51,790

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べて、5,447百万円増加し、6,491百万円の収入となりました。これは、税金等調整前当期純利益の増加及び法人税等の支払額の減少等により資金の増加があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

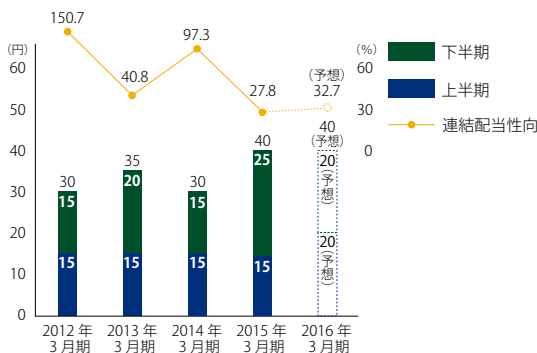
投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べて1,772百万円減少し、322百万円の収入となりました。これは、有価証券の償還による収入が増加したこと及び有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べて、770百万円増加し、1,687百万円の支出となりました。これは、自己株式の取得による支出が増加したこと等によるものです。

配当金及び連結配当性向の推移

当社は、株主に対する適正な利益還元を行うことを経営の重要課題と認識し、配当につきましては、30%以上の連結配当性向を目標として、業績に応じた積極的な株主還元に取り組んでまいりました。このような方針のもと、当期末配当金は、1株につき25円とし、年間配当金は、1株につき40円といたしました。次期配当金についても、年間配当金は40円を予定しております。



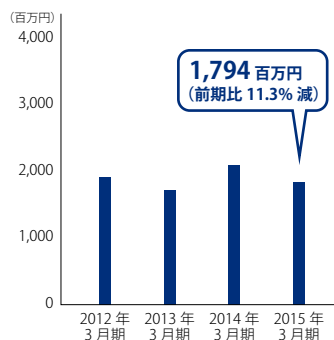
前連結会計年度 (自2013年4月1日 至2014年3月31日) 当連結会計年度 (自2014年4月1日 至2015年3月31日)

連結キャッシュ・フロー計算書

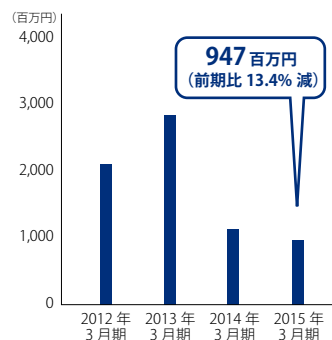
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,044	6,491
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,450	322
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△916	△1,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	303	309
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,019	5,436
現金及び現金同等物の期首残高	14,009	12,990
現金及び現金同等物の期末残高	12,990	18,426

(単位:百万円)

減価償却費

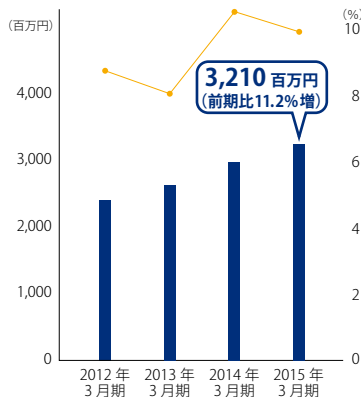


設備投資



研究開発費・売上高比

折れ線グラフ: 売上高比(右軸)



株式情報 2015年3月31日現在

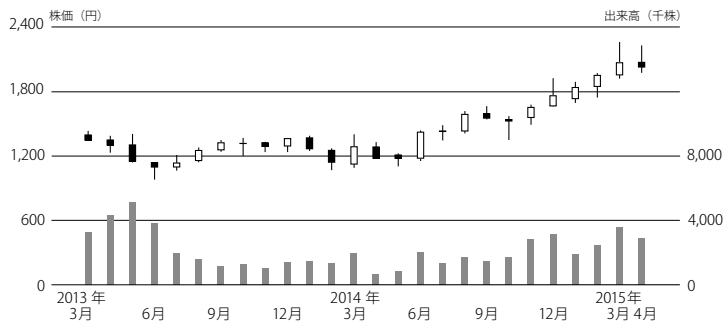
株式の状況

株式数	発行可能株式総数	120,000 千株
	発行済株式総数	29,699 千株
	株主数	6,443 名

大株主 (株主名)	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フジインコーポレーテッド	4,360	14.6
越山 勇	2,902	9.7
有限会社コマ	1,638	5.5
野田 純孝	1,520	5.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	979	3.2
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	854	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	796	2.6
株式会社三菱東京 UFJ 銀行	728	2.4
株式会社りそな銀行	691	2.3
フジミ取引先持株会	644	2.1

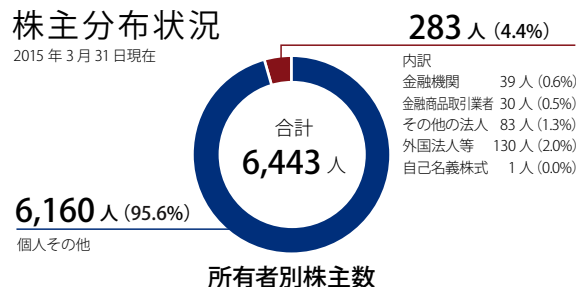
※持株数は千株未満を切り捨て、持株比率は小数点第2位以下を切り捨てています。

株価および出来高の推移

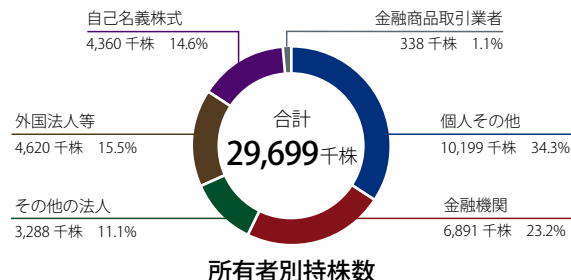


株主分布状況

2015年3月31日現在



所有者別株主数



所有者別持株数

役員

2015年
6月24日現在

代表取締役社長	関 敬史
常務取締役	伊藤 広一
取締役	鈴木 彰
取締役	大脇 寿樹
取締役	鈴木 勝弘
取締役	川下 政美* (新任)
常勤監査役	松島 伸男
常勤監査役	藤川 佳明
監査役	高橋 正彦**
監査役	岡野 勝** (新任)

(*印は社外取締役) (**印は社外監査役)

会社データ

2015年3月31日現在

商号	株式会社フジインコーポレーテッド
証券コード	5384
本社所在地	愛知県清須市西枇杷島町地領 2-1-1 TEL. 052-503-8181 (代表)
設立年月日	1953年 (昭和28年) 3月20日
資本金	4,753 百万円
代表者	代表取締役社長 関 敬史
従業員	798名 (単体554名)

株主メモ

2015年3月31日現在

決算日	3月31日
基準日	3月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 (http://www.fujimiinc.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載することといたします。
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 および照会先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話無料)

各種手続のお申出先

- 支払期間経過後の配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

【ご注意】

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座の口座管理人に、お問い合わせください。

特別口座管理機関 連絡先	日本証券代行株式会社 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843 (通話無料)
-----------------	---

株式会社フジミインコーポレーテッド

お問い合わせ先：財務部経営企画課
TEL：052-503-8181 (代表)
URL：<http://www.fujimiinc.co.jp>

Copyright (C) 2015 Fujimi Incorporated. All rights reserved.



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用

この印刷物は、環境負荷低減のため古紙パルプを80%使用した環境対応紙と、植物油を使用し、VOCの排出を抑えた環境対応型リサイクルインキ「ベジタブルインキ」を使用しています。